

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2395600022
事業所名	グループホームやすらぎの家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し、町内の情報を得ている。福祉まつりには作品を出展し、入居者と一緒に出掛けている。幼稚園児を招いて、歌やハンドベルの演奏を聞いたりして交流を深めている。音楽や踊りなどの地域のボランティアを受け入れ、地域の方との係わりを大切にしている。地域に事業所の夏祭りの案内をしているが、交流を深めるまでには至らず方法を模索中である。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 入居者、区長、民生委員、高齢福祉課職員の参加を得て年6回開催している。事業所の状況や活動の報告、出席者からは地域の行事や行政の情報を入手し、意見や提案等はその場で話し合ったり、職員会議などで協議し運営に活かしている。家族全員に会議の案内はしているが、参加が思わしくなく方法を模索している。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議に役場の担当者が毎回参加し、情報やアドバイスを得ている。担当窓口には、認定書類や申請の代行業務、活動報告やサービスの内容などを伝え、良好な協力関係を深めている。市や社協主催の研修会に積極的に参加して職員の意識の向上に活かすよう努力している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からは日々の関わりの中から思いを聞き、記録して職員間で共有しケアにつなげている。家族からは面会時や行事などで意見や要望を聞き、日報や申し送りノートなどに記録して全体会議などで話し合い、ケアや業務改善に役立てている。やすらぎだよりを発行して家族に安心を届けている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	-	○	×	○	○	○	○		